


I -20.大学等の研究成果の事業化推進のためのファンド制度と

その運営体制に関する調査

Survey on how to manage funding programs for promoting the commercialization of research outputs at universities

 キーワード	ギャップファンディング、インキュベーション、ベンチャーキャピタル、アントレプレナーシップ、スタートアップ企業
Key Word	university gap funding, incubation, venture capital, entrepreneurship, startup firms

1 調査の目的

我が国の大学等の研究成果の事業化推進を図るために、国内外の GAP ファンドやインキュベーションプログラムを運営している組織について、運営しているファンド、サービスの制度とその運営体制を中心に調査を実施した。

2 調査研究成果概要

(1) GAP ファンド等を運営する海外複数組織の運営体制等事例調査

IMEC (ベルギー)、カルフォルニア大学システム (米国) の 3 つのファンド・組織 (CITRIS 研究所、QB3 研究所、UC Ventures)、QBIC ファンド (ベルギー)、VIVES (ベルギー) の計 6 事例について調査した。

(2) ファンド運営関連業務の事例調査

UC バークレー校の SkyDeck (米国)、インペリアル・イノベーション (英国)、Central Gap ファンド (シンガポール)、University Challenge Seed Fund (英国)、CRG Proof of Concept Commercialization Gap ファンド (スペイン) の計 5 事例 (いずれもシード探索、試作開発、ビジネスデベロップメント、CXO チーム形成支援、ファンド運営の各項目) について調査した。

(3) 日本と海外の環境の違いが運営体制等に与える影響についての調査

東京大学 TLO、東京大学 Found X、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社 (東大 IPC)、東京大学エッジキャピタルパートナーズの取組の調査を行った。

我が国において、大学等におけるスタートアップ企業支援の仕組みを効果的かつ持続的なものとしていくためには、民間主導で自立性を増し、政府補助金依存ではない取組としていくことが必要である。そのためには、IMEC、SkyDeck 等で見られるような国際性 (参加するスタートアップ企業、投資家・企業、支援人材の国際性)、UC Ventures 等で見られた専門的で独立した VC 会社との連携、カルフォルニア大学システムの QB3 研究所等の事例に見られるような大学の先端的な技術シーズを地域の経済発展につなげる仕組みのいずれをも取り入れていくことが必要であろう。

本調査は、国立大学法人九州工業大学の委託調査 (「大学等の研究成果の事業化推進のためのファンド制度とその運営体制に関する調査」) として行われたものである。